

平成 30 年度

学 生 募 集 要 項

博士前期課程 **高等専門学校推薦選抜試験**

情 報 科 学 研 究 科

バ イ オ サ イ エ ン ス 研 究 科

物 質 創 成 科 学 研 究 科



奈良先端科学技術大学院大学

<http://www.naist.jp/>

目 次

- 《奈良先端科学技術大学院大学の教育方針》
《アドミッション・ポリシー》
《高等専門学校推薦選抜試験について》

| | |
|--------------------------------|---|
| ○博士前期課程 平成 30 年度高等専門学校推薦選抜試験概要 | 1 |
| [研究科別事項] | |

情報科学研究科

| | |
|-----------------|---|
| 1. 募集人員 | 2 |
| 2. 出願資格 | 2 |
| 3. 適性審査 | 2 |
| 4. 出願手続等 | 3 |
| 5. 選抜方法等 | 5 |
| 6. 合格者の発表及び入学手続 | 5 |
| 7. 入学時納付金 | 6 |
| 8. その他 | 6 |

バイオサイエンス研究科

| | |
|-----------------|----|
| 1. 募集人員 | 7 |
| 2. 出願資格 | 7 |
| 3. 適性審査 | 7 |
| 4. 出願手続等 | 8 |
| 5. 選抜方法等 | 10 |
| 6. 合格者の発表及び入学手続 | 10 |
| 7. 入学時納付金 | 10 |
| 8. その他 | 11 |
| *小論文 | |

物質創成科学研究科

| | |
|-----------------|----|
| 1. 募集人員 | 12 |
| 2. 出願資格 | 12 |
| 3. 適性審査 | 12 |
| 4. 出願手続等 | 13 |
| 5. 選抜方法等 | 15 |
| 6. 合格者の発表及び入学手続 | 15 |
| 7. 入学時納付金 | 16 |
| 8. その他 | 16 |
| *小論文 | |

[共通事項]

- ・コンビニエンスストアでの入学検定料支払方法のご案内 17
 - *適性審査申請書・推薦書
 - *入学願書・受験票・写真票・振込受付証明書・各種通知等受信票

***消費税率の改定が行われた場合には、受験票等送付用封筒等の郵便料金にご注意ください。
料金が不足の場合は、出願不受理となることがあります。**

奈良先端科学技術大学院大学の教育方針

●目的

奈良先端科学技術大学院大学（NAIST）は、学部を置かない大学院大学として、最先端の研究を推進するとともに、その成果に基づく高度な教育により人材を養成し、科学技術の進歩と社会の発展に寄与します。

●教育使命

NAIST は、先端科学技術の発展に資する人材を養成するために、学部を置かない大学院大学として平成3年10月に設置されました。NAIST の研究教育分野は、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」の3つの基盤的な学問領域です。

21世紀における人類の豊かな生活と住みよい社会を実現し、持続していくためには、次代を担う人材を養成し、人類の存続に役立つ多様な研究成果を社会に提供することが不可欠です。そのためには、単に科学技術に精通するだけでなく、大局的な視点を合わせ持つ人材を育成する全人的な教育が必要です。

本学では、「情報科学」、「バイオサイエンス」及び「物質創成科学」という先端科学技術の基盤的な学問領域に加え、それらの融合領域の研究教育、また倫理教育や知的財産教育などにも積極的に取り組んでいます。

●人材養成目的

体系的な授業カリキュラムと研究活動を通じて、博士前期課程では、社会・経済を支える高度な専門性を持ち、社会において指導的な立場に立てる人材を、博士後期課程では、科学技術に高い志を持って挑戦し、国際社会で指導的な役割を果たす研究者・技術者を養成します。

●教育方針

専門教育カリキュラムに加えて、人間として備えておくべき倫理観、広い視野、理論的な思考力、積極的な行動力、総合的な判断力、さらには豊かな言語表現能力を養う、教育カリキュラムを実施します。

また、新たな融合領域へ挑戦する人材を養成するための、3研究科が連携した教育プログラム、高度な国際性を養成するための、海外の教育研究連携校との共同プログラムを含む、教育プログラムを実施します。

そして、自己評価や外部評価をフィードバックして、常に教育の質の向上を図るとともに、教育研究環境の充実と優秀な学生の経済的支援を進めます。

アドミッション・ポリシー

◆求める学生像

国内外を問わず、また大学での専攻にとらわれず、高い基礎学力を持った学生あるいは社会で活躍中の研究者・技術者などで、将来に対する明確な目標と志、各々の研究分野に対する強い興味と意欲を持った人を積極的に受け入れます。

●情報科学研究科

情報科学研究科では、情報・通信の科学と技術の発展や変化に柔軟に対応できる能力を身に付けるため、物事を論理的に考えることができ、また、自分の考えが的確に表現できる力を持った人を求めます。

1. 博士前期課程では、旺盛な好奇心と何にでも挑戦する実行力を持った人。
2. 博士後期課程では、専門テーマにおける問題の発見と解決の方策を見出す力を持った人。

●バイオサイエンス研究科

バイオサイエンス研究科では、次のような人を求めます。

1. 生命現象の基本原則と生物の多様性を分子レベル及び細胞レベルで解明することに熱意と意欲を持っている人。
2. バイオサイエンスの深く広い専門知識を人類社会の諸問題の解決に役立たせることに強い関心を持ち、幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

●物質創成科学研究科

物質創成科学研究科では、次のような人を求めます。

1. 物質科学や融合領域の創造的かつ先端的研究を行うことに熱意と意欲を持っている人。
2. 人類社会の諸問題や産業界の要請に強い関心を持ち、技術革新や幅広い科学技術分野での活躍を志している人。

◆入学者選抜の基本方針

上記資質を有する優秀な人材を国内外から集めるため、入学者選抜は人物重視とし、面接試験を中心とした選抜試験を実施するとともに、推薦入試などの多様な選抜試験を実施します。

【高等専門学校推薦選抜試験について】

この募集要項による推薦選抜試験は、専攻科を修了し本学への進学を希望する学生に対して受験機会を拡充し、高等専門学校専攻科と本学博士前期課程での教育研究を円滑に接続することを目的としています。

博士前期課程 平成 30 年度高等専門学校推薦選抜試験概要

(1) 募集人員

| 募集単位 | 専攻名 | 募集人員 |
|-------------|------------|------|
| 情報科学研究科 | 情報科学専攻 | 若干名 |
| バイオサイエンス研究科 | バイオサイエンス専攻 | 若干名 |
| 物質創成科学研究科 | 物質創成科学専攻 | 若干名 |

(2) 日程概要

| 研究科 | 適性審査書類提出期間 | 出願期間 | 合格発表 | 入学手続 |
|-------------|------------------|----------------|------------|-----------|
| 情報科学研究科 | H29. 4. 10～4. 14 | H29. 6. 5～6. 7 | H29. 7. 14 | H30. 2 下旬 |
| バイオサイエンス研究科 | H29. 4. 10～4. 14 | H29. 6. 5～6. 7 | H29. 7. 14 | H30. 2 下旬 |
| 物質創成科学研究科 | H29. 4. 10～4. 14 | H29. 6. 5～6. 7 | H29. 7. 14 | H30. 2 下旬 |